



てどりがわ いしかわけん まんがんせき ほんとう なが  
**手取川（石川県）の100万貫石は、本当に流されてきたの**

### じょうりゅう なが **上流 から流されてきた**

いしかわけん はくさん なが で てどりがわ じょうりゅう きょだい  
 石川県にある白山（2702メートル）から、流れ出ている手取川の上流には、巨大な  
 いし ゆうめい  
 石があるので有名です。

いし むかし おも たんい やく まんがん いま おも たんい やく  
 この石は、昔の重さの単位では約100万貫、今の重さの単位にすると、約3750ト  
 ンもあります。いし たか ひと ばいじょう よこ ばい  
 石の高さは人の4倍以上、横はばは20倍ぐらいもあります。

おお いし しゅうちゅう う きよちてき みじか じかん はげ ふ あめ なが  
 こんな大きな石も、集中ごう雨（局地的に短い時間に激しく降る雨）のときなどに、流  
 されてきたのです。

### かわ みず はこ **川の水の運ぶはたらき**

かわ なが どしゃ こいし おお いし はこ なが  
 川の流れば、土砂や小石、大きな石など、いろいろなものを運びます。そのはたらきは流  
 はや はや みず りょう おお おお  
 れの速さが速くなるほど、水の量が多くなるほど、大きくなります。

たいふう たいふう しゅうちゅう う みじか じかん あめ かわ すい  
 つゆや台風のときなどの、集中ごう雨によって、短い時間にたくさんの雨が、川の水  
 げんち やま ふ どしゃ がんせき みず  
 源地の山などに降ります。すると、土砂や岩石をたくさんふくんだ水が、ものすごい速さで  
 たいりょう なが  
 大量に流れます。

なが じょうりゅう おお いし はや なが たいりょう みず なが  
 いつもは流されなかった上流の大きな石も、速い流れと大量の水によって、流されて  
 くるのです。（監修・国司・真）

### 100万貫石

